の自活を支えるみちづくり

(①渋滞損失時間

目標達成に向

け

た主な事

平成19年度の取組み

- 平成19年度は一般国道188号岩国南バイパスや都 市計画道路幡生綾羅木線等が供用され、更なる渋滞 緩和が期待されます。
- ●これらの施策により平成19年度は、約11万人時間/年 の渋滞損失削減を目指します。
- ●平成19年度目標4,104万人時間/年(平成15年度に設 定)の達成が見込まれます。
- ●必要に応じて有料道路の割引実験等のソフト施策も 視野に入れ渋滞の緩和に努めます。

山口県における渋滞損失時間の地域区分



●渋滞損失時間の95%以上が山陽側での渋滞発生 によるものであり、引き続き主に山陽側での対策 を行います。

平成18年度(宝績値)

(万人時間/年)

4,120

4.100

4 080

H19年度目標(H15設定)の

目標達成が見込まれます

4.100

平成19年度(見込)

11万人時間

●山陰側では唯一萩市周辺で渋滞損失時間が卓越し ているため、萩市周辺での対策を行います。

平成19年度の目標達成に向けた主な事業

事業 主体	事業名称	今年度供用延長	供用年次	目標とする渋滞損失 時間の削減効果	関連する 主要渋滞ポイント	紹介ページ
国土 交通省	一般国道2号 厚狭・埴生バイパス	全線供用 1.8km (暫定2車線)	H19年度末	0.1万人時間/年削減	-	-
	一般国道191号 萩·三隅道路	部分供用 7.1km (暫定2車線)	H19年度末	0.2万人時間/年削減	-	-
	一般国道188号 岩国南バイパス	全線供用 3.1km (側道供用)	H19年度末	5.5万人時間/年削減	·岩国南三丁目交差点 ·尾津一丁目交差点 ·門前橋北詰交差点 ·鍋見交差点	P12
山口県	(都)牛野谷線	全線供用 1.1km (2車線)				
	(都)門前線	部分供用 0.7km (2車線)				
	(都)幡生綾羅木線	全線供用 1.2km (4車線)	H19年度末	4.8万人時間/年削減	·幡生口交差点 ·幡生駅前交差点	P13
合計				10.6万人時間/年削減		



組み

概

4

成

19

年

度

整

計

塱

1土交通

省

Ш

口県事業

期 待さ

n

る

整

備

効

果

今

後

0

方

岩国南バイパス/(都)牛野谷線/(都)門前線 平成19年度末 全線供用予定(側道)

●一般国道188号岩国南バイパスは、岩国市街南部方面の交通渋 滞の緩和、交通安全の確保を目的とした、岩国市山手町から同 市藤牛町三丁目に至る延長4.9kmの道路です。

●一般国道188号岩国南バイパスと同時に、(都) 牛野谷線、(都) 門 前線の供用を開始し、岩国市街地の総合的な交通円滑化を図り ます。



H11.3 L=1.8km 南岩国3丁目交差点 岩国市 門前橋北陆交差点



域の自活を支えるみちづく

(①渋滞損失時間



渋滞損失時間の削減効果

今回の路線供用により、5.5万人時間/年の渋 滞損失時間削減が見込まれます。

▼ 渋滞損失時間の削減(国道188号)



| 今後の方針

平成19年度は、改良及び舗装工事を推進し、 岩国市南岩国から同市山手町の1=31kmの側道 供用及び(都) 牛野谷線、(都) 門前線の供用を 目指します。

岩国南バイパスは、以下の観点から今後も事業 を推進していきます。

- (1)岩国市内の渋滞緩和及び安全性向上に寄与
- ②沿道環境の改善に寄与
- ③日常生活における利便性向上に寄与

「H11年道路交通センサス」、「将来交通量推計」、「バスプローブデータ」

地域の

【物流事業者A】

・岩国南バイパスと岩国・大竹道路が一体的に整備されれば、高速道路からのアクセス がしやすくなり、荷の流通利便性が高まると思います。

【岩国市観光協会】

・山手町付近に住んでいる方が大型小売店などのある南岩国方面へのアクセスがしや すくなり、買物の利便性が向上すると思います。



12